



北浦っ子

令和3年度学校だより5月号
5月18日発行
延岡市立北浦小学校 No3
文責：校長 甲 斐 憲 一

地下茶山でふるさと学習

4月30日(金)に3・4年生が、日本の里百選に選ばれた地下の茶山に出かけ、茶摘みや釜炒りの体験学習を行いました。初めて茶山に行きましたが、山の傾斜を上手く利用し、お茶がきれいに植えられた風景を見てとても感動しました。

今回の学習では、社会福祉協議会や地域の高齢者の方々にご協力をいただき、茶摘みや釜炒りの仕方を学び、ふるさと北浦の良さを感じることができました。毎年釜炒りでは、釜にさわって、やけどをする児童もいたようでしたが、今年はやけどをする児童もおらず、おいしいお茶を作ることができました。茶山にはテレビ局や新聞社も来ていただき、その様子取材し、テレビや新聞で紹介されました。

このような地域と連携した学習をこれからも積極的に行っていきながら、ふるさと北浦を愛する子どもたちを育てていきたいと思っておりますので、学校へのご支援やご協力をよろしくお願いいたします。

和楽器(箏)に親しむ

今までは高学年のみの指導であった和楽器でしたが、3・4年生においても我が国や郷土の伝統音楽に親しみ、良さをいっそう味わえるようにしていくために、新たに学習することになりました。そこで、中学校から箏をお借りして、4年生では、「さくらさくら」を実際に演奏しました。爪をはめて演奏するのは初めてで、なかなか始めは上手く弾けない感じでしたが、木原先生の指導の下、少しずつ慣れてきて、「さくらさくら」の演奏も



【5月11日の夕刊デイリーに掲載】



【炒った茶をもむ児童】



上手にできるようになっていました。

我が国の伝統的な音楽や楽器に触れることは大変重要なことであり、日本の良さを感じることができます。このような体験を通して、地域だけでなく国を愛する心も育ってほしいと思います。



【箏（こと）を演奏する児童】

おいしい給食 ありがとうございます。

子どもたちは給食が大好きです。私も今日の給食は何かな？と楽しみに待っているファンの一人です。

子どもたちの嗜好や栄養のバランス等を考えた毎日の献立は、本校の中川先生と長谷先生が担当し、実際に心を込めて給食をつくっていただくのは北浦町学校給食センターの調理員のみなさんです。

梅雨や夏の季節は蒸し熱い中、冬の季節は足下が冷える中で北浦小のみならず、8校分の給食を作っています。

おいしい給食をありがとうございます。

テレビのCMでも言われていますが、毎日おにぎり1億個分の食べ物が日本では廃棄されているそうです。私が大学生の時に宮崎の一番街にあるミスタードーナツでバイトしていましたが、夜中の3時過ぎにお店が閉まり、余ったドーナツは大きなビニール袋3つ分にもなっていました。(もったいないから店長には黙ってたまに持って帰っていました。もう30年も前のことなのですでに時効と言うことで!)そういう意味でも子どもたちには給食に関わる方々への感謝の気持ちを持ち、好き嫌いなく給食を食べてほしいと思います。



【給食センターの調理員のみなさん】

体力テストに挑戦！

体力テストが行われました。毎年、握力・上体おこし・長座体前屈・反復横跳び・20mシャトルラン・50m走・立ち幅跳び・ソフトボール投げの8種目実施し、子どもたちの体力の状況を把握しています。本校の子どもたちは、上体起こし・長座体前屈・50m走・立ち幅跳びなどが苦手なようです。お風呂上がりなどにストレッチ運動をしたり、外遊びで、跳んだり走ったりなどの運動を積極的に取り組んだりすることが体力向上につながっていくと思います。



【 上体起こし 】